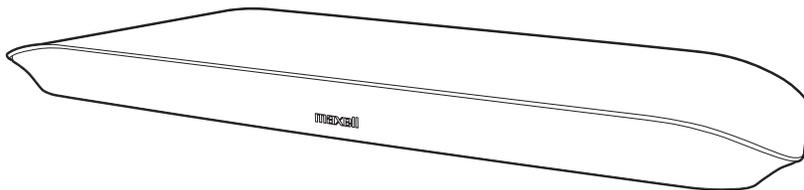


# maxell

## テレビ用サウンドボード MXSP-SB2000

取扱説明書 保証書付

Ver. 1.0



このたびはマクセル製品をお買い上げいただきありがとうございます。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使い  
ください。

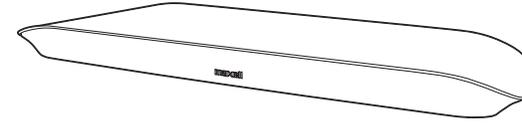
また、この取扱説明書(保証書を含みます)は大切に保管してください。

# 目次

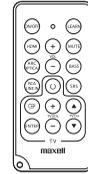
1. 梱包品の確認	2
2. はじめに	3
3. 安全上のご注意	4
4. 特長	8
5. 各部の名称と機能	9
6. 準備をする	11
7. 接続する	12
8. 音声を再生する	15
9. 再生中の機能	16
10. 学習リモコンの設定	17
11. HDMIコントロール機能 (CEC) の設定	18
12. 故障かな?と思ったときは	19
13. 主な仕様	20
14. 保証とアフターサービス	21

巻末 製品保証書

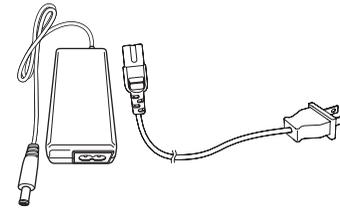
# 1. 梱包品の確認



本体× 1



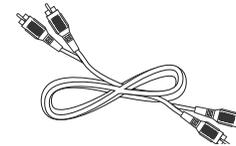
リモコン (電池 CR2025× 1個付) × 1



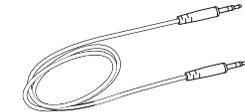
AC アダプタ× 1



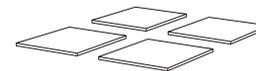
HDMI ケーブル× 1



ステレオ RCA ピンケーブル× 1



直径 3.5mm ステレオミニプラグケーブル× 1



すべり止めシート× 4



取扱説明書 (保証書付き) × 1

## 2. はじめに

### 取扱説明書をお読みになるにあたって

- この取扱説明書については、将来予告なしに変更することがあります。
- 製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
- この取扱説明書につきましては、万全を尽くして製作しておりますが、万一ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- この取扱説明書の一部または全部を無断で複写することは、個人利用を除き禁止されております。また無断転載は固くお断りします。

### 免責事項(保証内容については保証書をご参照ください)

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 保証書に記載されている保証がすべてであり、この保証の外は、明示の保証・黙示の保証を含め、一切保証しません。
- この取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続機器との組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送用機器など人命に係わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故、火災事故などが発生した場合、当社は一切責任を負いません。
- 本製品は日本国内仕様です。日本国外での使用に関し、当社は一切責任を負いません。

## 3. 安全上のご注意

安全にお使いいただくために必ずお守りください。

### 表示の説明

 <b>危険</b>	「誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷*1を負うことがあり、かつ、その度合いが高いこと」を示します。
 <b>警告</b>	「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷を負う可能性があること」を示します。
 <b>注意</b>	「誤った取り扱いをすると人が傷害*2を負う可能性または物的損害*3が発生する可能性があること」を示します。

\*1:重傷とは、失明やけが、やけど、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを示します。

\*2:傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を示します。

\*3:物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

絵表示の例		△記号は製品の取り扱いにおいて、発火、破裂、高温等に対する注意を喚起するものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。
		⊘記号は製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止するものです。具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。
		●記号は製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制するものです。具体的な強制内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。

### 警告

#### 水にぬらさないでください。

風呂場、台所、海岸、水辺、屋外では使用しないでください。また加湿器を過度に効かせた部屋や、雨・雪・水がかかる場所での使用は特にご注意ください。火災・感電の原因になるおそれがあります。



みずぬれ禁止

#### 修理や改造、または分解しないでください。

火災、感電、またはけがをすることがあります。修理や改造、分解に起因する物的損害について、当社は一切責任を負いません。また、修理や改造、分解に起因する故障に対する修理は保証期間内であっても有料となります。



分解禁止

#### 異常時は電源プラグをコンセントから抜いてください。

煙が出た場合、変なにおいや音がする場合、水や異物が内部に入った場合、本機器を落下させた場合はすぐに電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災、感電などの原因になるおそれがあります。



電源プラグを抜く

#### いたんだ電源コードは使用しないでください。

電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったりしないでください。また重いものをのせたり、本体の下敷きにならないようにしてください。芯線が露出したり断線した場合は、必ず新品のコードに交換してください。そのまま使用すると火災、感電などの原因になるおそれがあります。



禁止

 <b>警告</b>	
<p>誤った方法で設置・使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機をさかさまにしたり、風通しの悪い場所で使用したりしないでください。</li> <li>● 通気性の悪い場所へ押し込まないでください。</li> </ul>	 禁止
<p>雷が鳴り出したら使用しないでください。</p> <p>感電の原因になるおそれがあります。</p>	 感電注意
<p>指定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。</p> <p>本機ACアダプタの指定電源電圧は交流100～240ボルトです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。感電・火災の原因になるおそれがあります。</p>	 禁止
<p>本機の落下時、破損時は必ず販売店に点検を依頼してください。</p> <p>そのまま使用すると、感電・火災の原因になるおそれがあります。</p>	 点検を依頼
<p>電源プラグにホコリがつかないようにしてください。</p> <p>電気の火花がホコリに引火し、火災の原因になるおそれがあります。定期的にゴミやホコリを取り除いてください。</p>	 電源プラグを清掃
<p>電源プラグは目に見える位置で、手が届きやすいコンセントに差し込んでください。</p> <p>万一の際、すぐに電源プラグを引き抜けるようにしてください。</p>	 電源プラグは見える位置に
<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。</p> <p>感電の原因になるおそれがあります。</p>	 ぬれ手禁止
<p>湿気やほこりの多い場所へ置かないでください。</p> <p>加湿器のそばや調理台の近く、その他ホコリの多い場所に設置しないでください。回路がショートして、火災・感電の原因となるおそれがあります。</p>	 禁止
<p>ACアダプタを布やカバーで覆わないでください。</p> <p>熱がこもり、ケースが変形し、火災・感電の原因となるおそれがあります。</p>	 禁止
<p>専用のACアダプタ以外を使用しないでください。</p> <p>火災・感電の原因となるおそれがあります。</p>	 禁止
<p>電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。</p> <p>差し込みが不十分のまま使用すると、感電やホコリの堆積による火災の原因となるおそれがあります。</p>	 電源プラグを確実に差し込む

 <b>警告</b>	
<p>ゆるみのあるコンセントは使用しないでください。</p> <p>電源プラグを差し込んだ時、ゆるみがあるコンセントは使用しないでください。火災・感電の原因となるおそれがあります。</p>	 禁止
<p>電源コードを引っ張らないでください。</p> <p>コードが傷つき、感電・火災の原因となる場合があります。引き抜く場合にはプラグ部分を持って行ってください。</p>	 禁止
<p>長時間音が歪んだ状態で使用しないでください。</p> <p>スピーカーが発熱し火災の原因になるおそれがあります。</p>	 禁止

 <b>注意</b>	
<p>不安定な場所へ置かないでください。</p> <p>ぐらついた台の上や傾いた場所などに置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因になるおそれがあります。</p>	 禁止
<p>直射日光が当たる場所や、異常に温度が高くなる場所へ置かないでください。</p> <p>機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になります。夏の閉め切った自動車内や直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。</p>	 禁止
<p>薬物を使用しないでください。</p> <p>ベンジン、シンナー、合成洗剤などで外装を拭かないでください。また接点復活剤を使用しないでください。外装が劣化するほか、部品が溶解するおそれがあります。</p>	 禁止
<p>お手入れの際、長期間使用しない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。</p> <p>安全のため、電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>	 電源プラグを抜く
<p>外部機器の接続には取扱説明書をよくお読みください。</p> <p>本機および、各機器の取扱説明書をよく読み、電源を切った状態で接続してください。</p>	 注意
<p>環境気温の急激な変化で、本機に結露が発生する場合があります。</p> <p>正常に作動しない場合は、電源を入れない状態でしばらく放置してください。</p>	 注意
<p>小さなお子様の手が届かないように本製品を配置してください。</p>	 強制

## 電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記注意事項を必ずお守りください。

⚠ 危険	
<b>電池が液漏れしたとき</b> 電池の液が漏れたときは素手で液をさわらないでください。液が目に入ったときは、失明の原因になることがありますので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、速やかに医師の診断を受けてください。液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になることがありますので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状が現われたときには、ただちに医師の治療を受けてください。	 禁止

⚠ 警告	
機器の表示に合わせ、+と-を正しく入れてください。	 強制
火、水の中に入れてください。	 禁止
充電しないでください。	 禁止
分解、加熱しないでください。	 禁止
コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しないでください。	 禁止
液漏れした電池は使わないでください。	 禁止
使いきった電池は取り外してください。 長期間使用しないときも取り外してください。	 禁止
指定された電池以外は使用しないでください。	 禁止

## 4. 特長

### ●薄型TV、置くだけ良い音

2.1chサブウーファー内蔵、総合出力70Wデジタルアンプで強力にドライブすることにより、映画やライブをクリアでダイナミックなサウンドで再現します。

### ●配線スッキリ、お掃除ラクラク

一体型のスリムボディを採用し、TVの下に設置することでTVまわりがスッキリ、面倒なお掃除も簡単にできます。

### ●取り付けカンタン、2ステップ

置く、接続する。2ステップでカンタンに取り付けできます。

### ●学習リモコンで操作ラクラク

学習リモコンでTVのチャンネルやボリューム操作が可能です。

### ●オートパワーオン/オフ搭載でテレビと連動

HDMIケーブルで接続した場合は、テレビと連動して電源のオン/オフができます。RCAケーブルやステレオミニプラグで接続した場合は、テレビの音声が入力されると自動的にパワーオン、テレビの音量が約3分間小さくなるとスタンバイモードとなり、テレビと連動して電源のオン/オフができます。

### ●HDMI (ARC)、光デジタル音声入力対応

お手持ちのテレビがHDMIのARC機能に対応している場合は、音声ケーブルを接続しなくても本機でテレビの音声を再生することができます。また光デジタル音声入力にも対応しています。

### ●SRS 3D、TruBass、Focus搭載

#### SRS 3D

録音時や伝送路で失われた空間情報を補い、臨場感あるサラウンド音場を再生します。

#### SRS TruBass

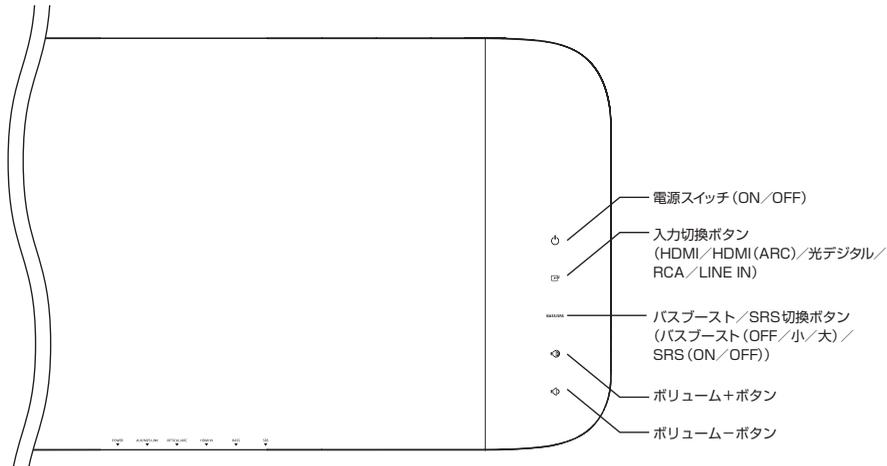
原音に含まれている低音の高調波成分を再生することで、脳内にオリジナルの低音として認識させ実体感のある低音を再現します。

#### SRS Focus

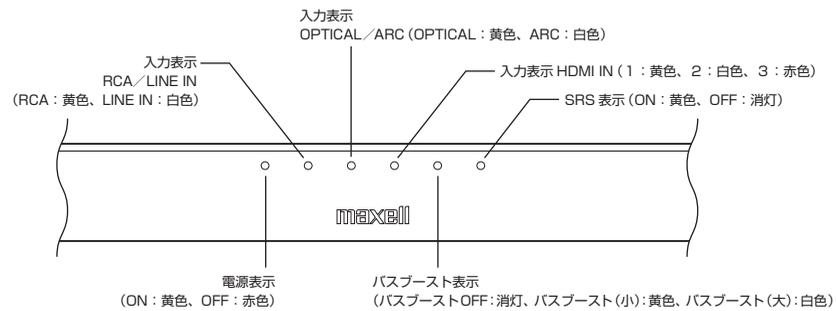
頭部伝達関数を用いて仮想音源位置を上を持ち上げ、音の輪郭を明瞭にします。

# 5. 各部の名称と機能

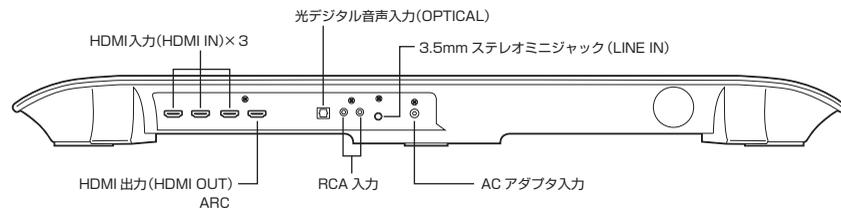
## 天面



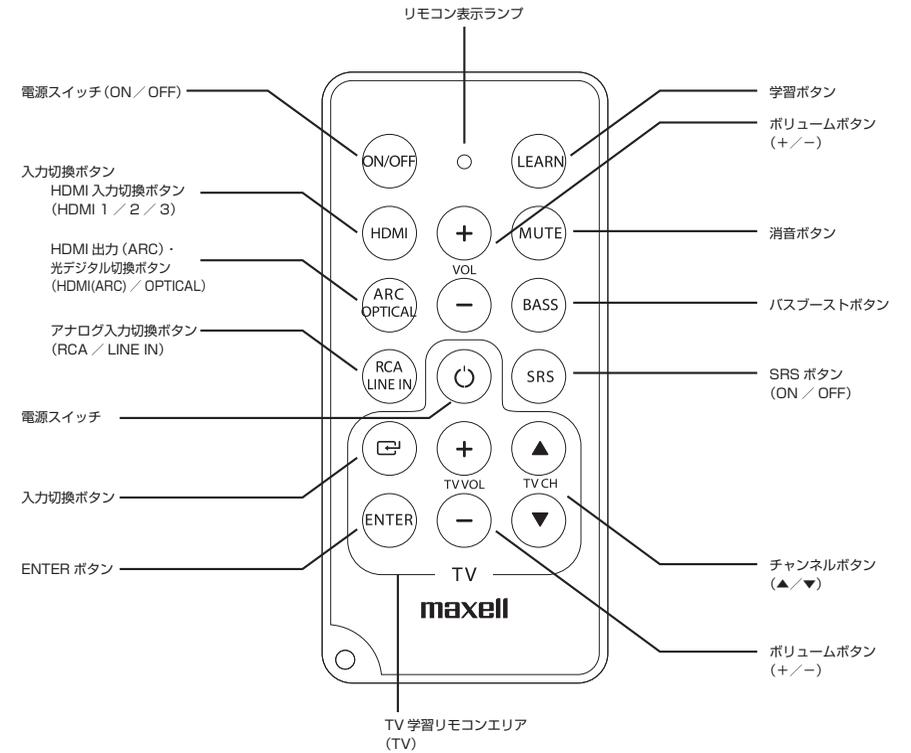
## 前面



## 背面



## リモコン

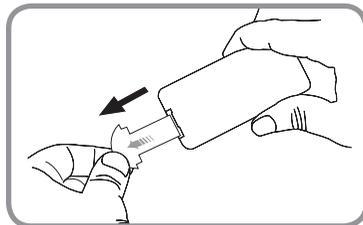


## 6. 準備をする

### リモコンの準備

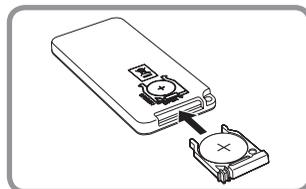
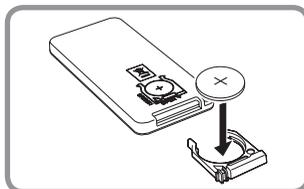
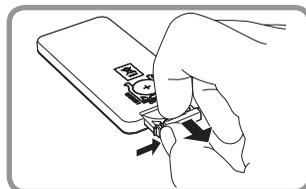
リモコンの絶縁シートを取り出します。

※付属のリモコンには、おためし用電池があらかじめ入っています。  
初めてご利用の際には、電池カバーを開け、絶縁シートを取り出してご利用ください。



### リモコンの電池交換

1. カバーのロックをはずし、スライドさせて開けます。
2. ボタン電池を入れ替えます。(CR2025)
3. カバーをスライドさせて閉めます。



**警告** 電池の向きを正しく入れてください。

### 本体の設置

1. テレビラック上にサウンドボードを設置します。
2. サウンドボード上にテレビを設置します。

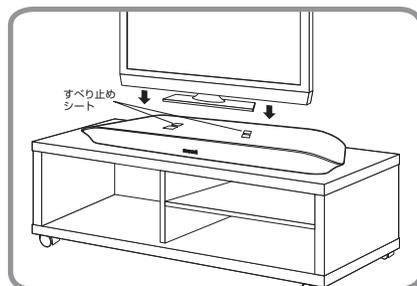
※サウンドボードがテレビラックからはみ出さないように設置してください。  
テレビの脚サイズ:530mm(幅)×320mm(奥行き)以下  
テレビの質量:50kg以下

※テレビの脚がサウンドボードからはみ出さないように設置してください。

※テレビのすべり止めシートを付属しています。テレビのすべりを防ぐためご使用ください。すべり止めシートやテレビスタンドを長期間設置することにより、変色や跡が残ることがあります。

※テレビの転倒防止のため、テレビで指定された転倒防止を実施してください。テレビの転倒防止ベルトを使用する場合は、テレビとテレビラックを直接固定してください。サウンドボードには固定しないでください。

※テレビをサウンドボードにのせる際は、落下などに注意して取扱ってください。また、衝撃を与えないようにのせてください。



## 7. 接続する

### 1. テレビとサウンドボードを接続する。

テレビとサウンドボードの接続は、お手持ちのテレビ機能により以下の接続からお選びください。

#### <HDMIケーブルで接続する場合>

お手持ちのテレビがHDMIのARC機能に対応している場合は、テレビのHDMI入力（ARC）端子と本機のHDMI出力端子（HDMI OUT）を付属のHDMIケーブルで接続します。

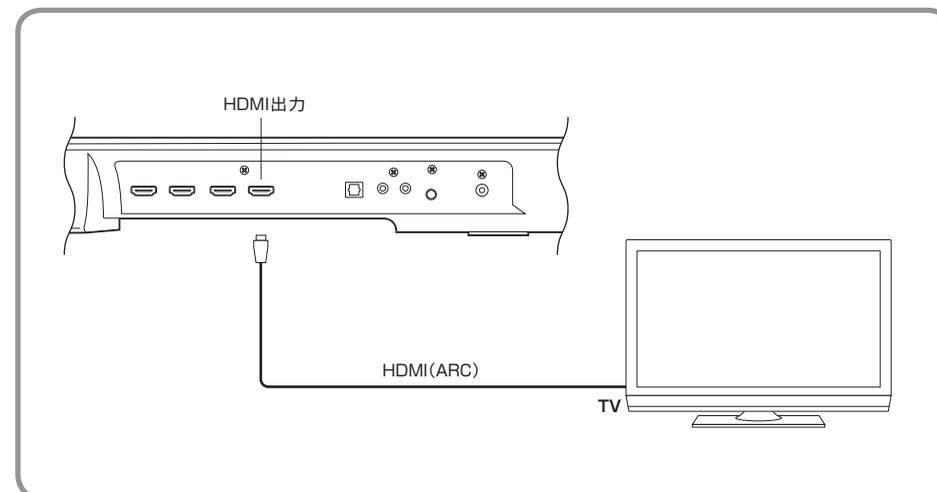
※ARC (Audio Return Channel) 機能とは、HDMI接続している機器同士の音声信号を相互に伝送する機能です。

※音声信号は、テレビのHDMI入力から本機のHDMI出力に送られます。注意して接続ください。

※テレビのARC機能を使用するためには、テレビの設定が必要な場合があります。

テレビの設定については、テレビの取扱説明書を参照ください。

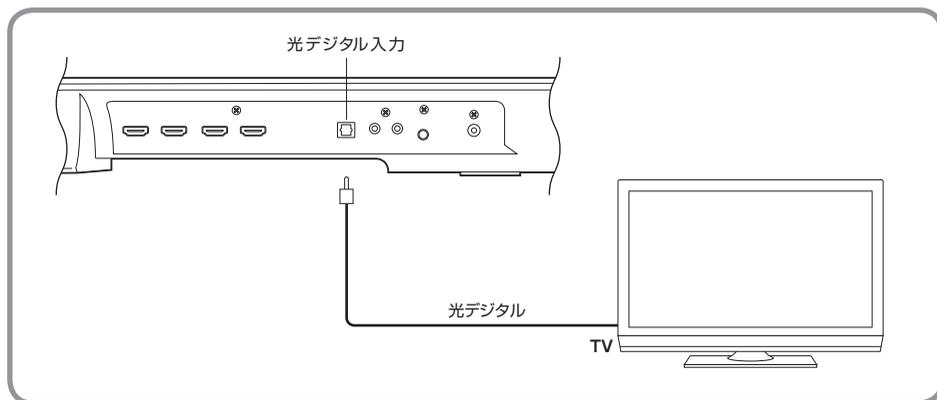
※テレビのデジタル音声出力はリアルPCM（サンプリング周波数48kHz以下）を選択ください。



### <光デジタルケーブルで接続する場合>

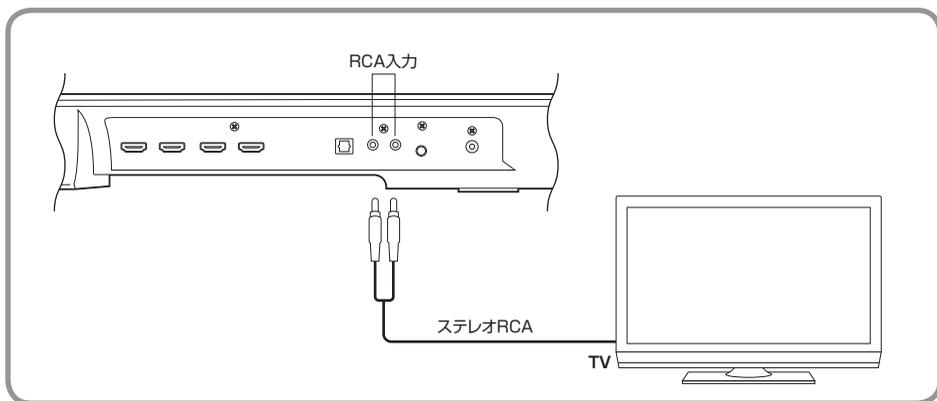
お手持ちのテレビが光デジタル音声出力機能に対応している場合は、テレビの光デジタル音声出力端子と本機の光デジタル入力端子（OPTICAL）を市販の光デジタルケーブルで接続します。

※テレビのデジタル音声出力はリアルPCM（サンプリング周波数48kHz以下）を選択ください。



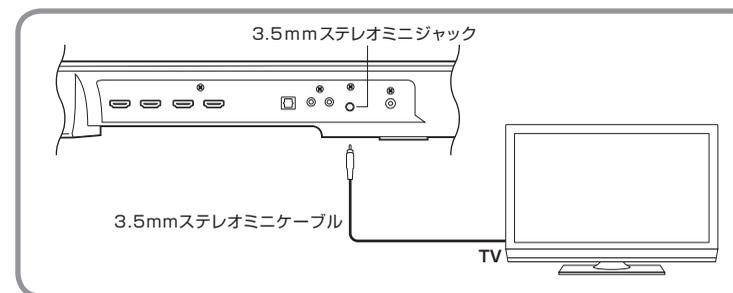
### <RCAケーブルで接続する場合>

テレビの音声出力端子（RCA出力端子）とサウンドボードのRCA入力端子を付属のRCAケーブルで接続します。



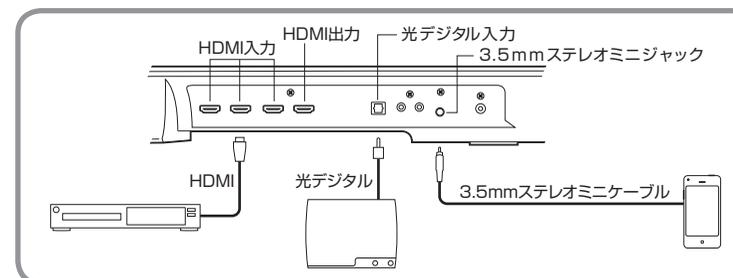
### <ステレオミニプラグケーブルで接続する場合>

テレビのイヤホン端子とサウンドボードのステレオミニジャック端子（LINE IN）を付属のステレオミニプラグケーブルで接続します。



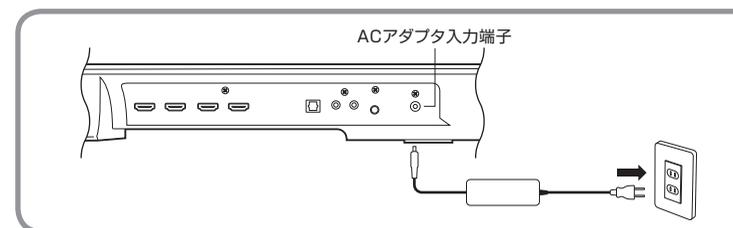
### <その他の接続>

ブルーレイプレイヤーやCDプレイヤー、ゲーム機、デジタルオーディオプレイヤーなどを本機に直接接続して再生することができます。



### 2. ACアダプタを接続する。

本体背面のACアダプタ入力端子に付属のACアダプタを接続します。



警告

付属の専用ACアダプタ以外は絶対に使用しないでください。

## 8. 音声を再生する

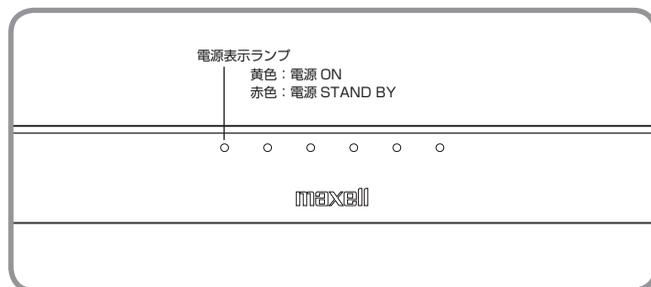
### 1. テレビの電源を入れる。

テレビとHDMIまたはRCA・ステレオミニプラグで接続されている場合は、オートパワーオン機能により、サウンドボードの電源が入ります。(4.にお進みください)

※HDMI接続の場合、テレビ機種や設定条件によっては、オートパワーオン機能がはたらかない場合があります。

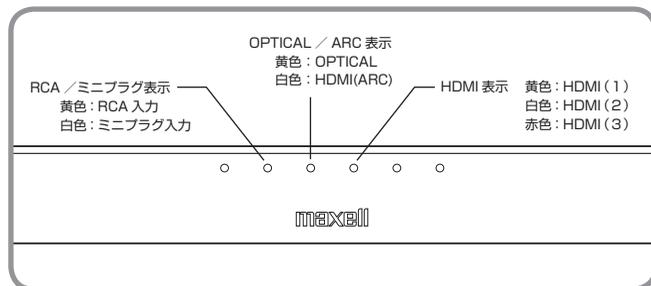
### 2. サウンドボードの電源を入れる。

リモコンの電源スイッチ (ON/OFF) またはサウンドボード本体の電源スイッチ (⏻) を押して電源を入れます。



### 3. 入力ソースを切り換えます。

リモコンの入力切換ボタン (RCAまたはLINE IN) またはサウンドボード本体の入力切換ボタン (⏻) を押して、接続した入力に合わせて入力ソースを選択します。



### 4. ボリュームを調整します。

リモコンのボリューム調整ボタン (VOL +/-) またはサウンドボード本体のボリュームボタン (⏻/⏻) を押して、ボリュームを調整します。

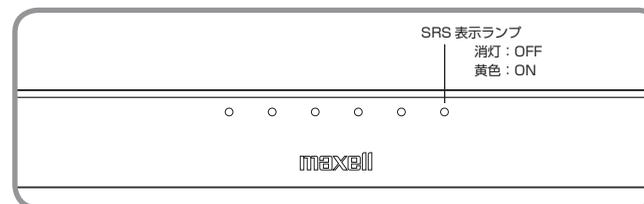
※テレビのイヤホンジャックに接続した場合は、テレビのボリュームも合わせて調整します。

※低音が多く含まれる音源を再生すると、音量や設置環境により、振動が発生することがあります。この場合は、ボリュームを下げてご使用ください。

## 9. 再生中の機能

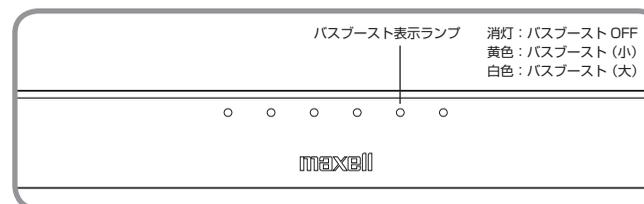
### 1. SRS

リモコンのSRSボタン (SRS) を押して、SRSの音響効果を得ることができます。また、本体のバスブースト/SRS切換ボタン (BASS/SRS) を長押し(約3秒)して、SRSの音響効果のON/OFFを切りかえることができます。



### 2. バスブースト

リモコンまたはサウンドボード本体のバスブーストボタン (BASS) を押して、お好みの低音音量に調整します。ボタンを押すたびに、バスブーストOFF → バスブースト(小) → バスブースト(大) の順で効果が切り替わります。



### 3. ミュート (消音)

リモコンのミュートボタン (MUTE) を押して、消音することができます。ミュート中は、電源表示ランプ (POWER) ランプが点滅します。再びミュートボタンを押すことでミュートを解除します。

### 4. オートパワーオン/オフ

HDMI接続の場合、HDMIコントロール機能により、テレビと連動して電源のオン/オフができます。(11. HDMIコントロール機能 (CEC) の設定 参照) RCAやステレオミニプラグ接続の場合、スタンバイモード中にテレビの音声が入力されると自動で電源オンとなります。また、テレビの音量が約3分間小さくなるとオートパワーオフ機能によりスタンバイモードとなります。オートパワーオフの約30秒前に電源表示ランプを点滅してお知らせします。

※HDMIコントロール機能は、テレビ機種または設定条件によっては動作しない場合があります。※光デジタル接続の場合は動作しません。※再生中にサウンドボードの電源スイッチで電源オフとした場合は、オートパワーオン機能は動作しません。手動で電源を入れてください。※音源の音量レベルやノイズレベルによっては、動作タイミングが前後することもあります。故障ではありません。

### 5. オートディマー表示

映画などの鑑賞をさまたげないよう、リモコンや本体のボタン操作をおこなった後、約5秒で表示ランプが消灯します。

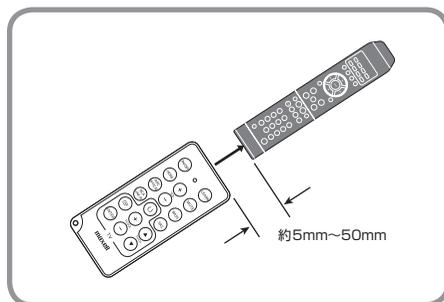
## 10. 学習リモコンの設定

お手持ちのテレビ付属リモコン機能の一部をサウンドボード付属のリモコンに記憶させることができます。

記憶できるリモコン機能は、本機付属のリモコンのTV学習リモコンエリア (TV) のボタンとなります。

電源ON/OFF、入力切替、ENTER、ボリューム+/-、チャンネル▲/▼

1. 本機付属のリモコンとテレビ付属のリモコンを向かい合わせにセットします。



2. 本機付属リモコンの学習ボタン (LEARN) を約2秒押すと学習モードとなり、リモコンの表示ランプが赤色に点灯します。

※約10秒間操作がない場合は通常のリモコンモードに戻ります。再度ははじめから設定をおこなってください。

3. 本機付属リモコンの学習させたい機能ボタンを押すと、表示ランプが点滅を開始します。

4. テレビ付属リモコンの学習させたい機能ボタンを押します。本機のリモコンが正常に受信した場合は表示ランプが3回早い点滅となります。正常に受信できなかった場合は3項の点滅を繰り返します。

5. 3項から4項を繰り返して、他の機能を同様に記憶させます。

6. 本機付属リモコンの学習ボタン (LEARN) を押して学習機能を終了します。終了するとリモコン表示ランプが消灯します。

※お手持ちのテレビのリモコンが赤外線を利用したリモコンでない場合は、学習機能を利用することはできません。

※リモコンの信号によっては、学習機能を利用できない場合があります。

## 11. HDMIコントロール機能 (CEC) の設定

サウンドボードとお手持ちのテレビをHDMIケーブルで接続し、テレビのHDMIコントロール機能を有効とすると電源のON/OFFなど相互に制御することができます。

1. 本機とテレビを付属のHDMIケーブルで接続します。

2. テレビと本機の電源を入れます。

3. テレビのHDMIコントロール機能を有効にします。

テレビのHDMIコントロール機能の設定については、テレビの取扱説明書を参照ください。

4. テレビの電源を一度OFFにして、再度電源を入れます。

テレビの電源にあわせて、サウンドボードの電源が連動するか確認してください。

※接続するテレビや機器の設定条件によっては、HDMIコントロール機能がはたらかない場合があります。

※再生中にサウンドボードの電源スイッチで電源オフにした場合は、テレビの電源を入れてもサウンドボードの電源はオンとなりません。手動で電源を入れてください。

## 12. 故障かな?と思ったときは

「故障かな?」と思ったときは、下記の項目をチェックしてみてください。

症状	対策
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ACアダプタとサウンドボード本体の接続を確認してください。</li><li>・ ACアダプタと電源ソケットの接続を確認してください。</li></ul>
電源が切れる	<ul style="list-style-type: none"><li>・ テレビの音量を上げてください。 (16ページ、4. オートパワーオフ参照)</li></ul>
音がでない	<ul style="list-style-type: none"><li>・ テレビとサウンドボードの接続を確認してください。</li><li>・ テレビの電源がONとなっているか確認してください。</li><li>・ テレビのボリュームを確認してください。</li><li>・ テレビがARC機能に対応しているか確認してください。</li><li>・ テレビの音声出力がPCM (サンプリング周波数48kHz以下) で設定されているか確認してください。</li><li>・ サウンドボードの入力切替を確認してください。</li><li>・ サウンドボードのボリュームを確認してください。</li><li>・ サウンドボードがミュート (消音) でないことを確認してください。</li></ul>
音がひずむ	<ul style="list-style-type: none"><li>・ テレビの音量を下げてください。</li><li>・ テレビのバスブーストなどの機能をOFFにしてください。</li><li>・ サウンドボードの音量を下げてください。</li><li>・ テレビラックなどが振動していないか確認してください。</li></ul>
リモコンが動作しない	<ul style="list-style-type: none"><li>・ リモコンとサウンドボードの距離を近づけてください。</li><li>・ リモコン信号をさえぎるものがないか確認してください。</li><li>・ リモコンの電池の向きを確認してください。</li><li>・ リモコンの電池残量を確認してください。</li></ul>

動作や表示の問題が解決しない場合は、ACアダプタをはずして接続しなおしてください。  
サウンドボードの設定が初期状態にリセットされます。

## 13. 主な仕様

実用最大出力	70W (左右10W×4+サブウーファー30W)
スピーカーユニット	直径40mm×4+直径90mm×1
再生周波数特性	40Hz~20kHz
音声入力	HDMI入力×3、HDMI出力×1、光デジタル、ステレオRCA、直径3.5mmステレオミニプラグ
電源	DC24V/2A (付属ACアダプタ)
外形寸法	幅720×高さ54×奥行340mm (突起部含まず)
質量	約3.1kg (本体のみ)
付属品	リモコン (電池CR2025×1個付)、ACアダプタ、HDMIケーブル、ステレオRCAピンケーブル、ステレオミニプラグケーブル、すべり止めシート

## HDMI

HDMI、HDMI ロゴおよび High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。

- ・ 記載の内容は 2012 年 5 月現在のものです。
- ・ 製品の仕様およびデザインは改良のため予告なく変更する場合があります。

# 14. 保証とアフターサービス

## ■保証書に関して

保証書はかならず「販売店・お買い上げ日」などの記入を確かめて販売店からお受け取りください。また、保証書はよくお読みの上で、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

## ■本製品に関するお問い合わせ先

本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

## ■部品の保有期間について

本製品の部品の保有期間は5年です。

**日立マクセル株式会社** | お客様ご相談センター  
〒102-8521 | TEL.(03)5213-3525  
東京都千代田区飯田橋2-18-2 | FAX.(03)3515-8261

<http://www.maxell.co.jp>

## 無料修理規定

1. 万一製造上の理由により本製品が故障した場合は、この保証書を添えてお買い上げ店にお届けください。正常なご使用状態で購入後1年以内であれば、当社にて無料で修理または交換いたします。なお、お届けいただく際の運賃などの諸費用はお客様にご負担願います。
2. 保証期間内でも次のような場合には有料になります。
  - 1)ご依頼の際、保証書の添付がない場合。
  - 2)使用上の誤り(取扱説明書、取扱上の注意事項以外の誤操作など)により生じた故障。
  - 3)修理・改造・分解などによる故障。
  - 4)お取り扱い上の不注意(落下、衝撃、水掛かり、砂・泥の付着、機器内部への水、砂、薬品の入り込みなど)、手入れの不備(カビ発生、チリ・ホコリ等)による故障。
  - 5)本体以外の付属品および消耗品。
  - 6)一般用途以外(例えば、業務用の著しい連続使用、船舶への搭載など)に起因する損傷。
  - 7)故障の原因が本製品以外(供給電源など他の機器)にあって、それを点検・修理した場合などの損傷。
  - 8)前記以外で当社の責に帰することのできない原因により生じた故障。
3. 本製品の故障に起因する二次的な損害(期待した利益の喪失、精神的な損害など)の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
4. 本保証書は日本国内のみにおいて有効です。

This warranty is valid only in Japan.